

国際ロータリークラブ第2780地区第四グループIM（インターシティーミーティング）開催 「ONE CLUB, ONE ACTION」

～人道的支援に今ロータリアンがどう取り組むか！～

2015年3月28日（土）アメリカ海軍航空施設（厚木飛行場）

国際ロータリー第2780地区 第4グループ（茅ヶ崎、寒川、綾瀬、茅ヶ崎湘南、茅ヶ崎中央、綾瀬春日）IMがアメリカ海軍航空施設において、多くの地区内ガバナー補佐、地区役員、パストガバナーをお迎えし、総勢160人の参加のもと開催されました。本年は、茅ヶ崎中央RCがホストクラブとなり、塚原ガバナー補佐のご指導の下、昨年9月より何度となく会議を重ねて当日を迎えました。



第一部は、合同例会の中では、米海軍厚木航空施設司令官であるジョン・F・ブッシー大佐からご挨拶とパワーポイントを使用した基地概要及び米海軍の役割、米軍の人道支援、災害救助活動、ならびに日米友好促進と地域貢献に重きをおいた地域交流についての説明を頂きました。



休憩を挟んでの第二部は塚原 吉雄ガバナー補佐、出山 和夫実行委員長、綾瀬市長 笠間 城治朗様の挨拶に続いて、国立国際医療研究センター 蜂矢 正彦氏により「感染症」をテーマに講演を頂いた後、ロータリアンがどう支援に取り組んでゆくのかを、17テーブルに分かれ、炉辺形式で親睦を図るディスカッションを行いました。ディスカッションに先立って、海上自衛隊第航空郡司令二川達也海将補よりご挨拶を、佐野英之ガバナーノミニ

に乾杯の発声をいただき、食事を取りながらのディスカッションになりました。

アトラクションとしては、海上自衛官による阿波踊りが行われ、各クラブの会長も参加し盛り上がりました。

テーブルディスカッション終了後には田中賢三ガバナーエレクトによる総評が行われ、次年度ガバナー補佐、次年度ホストクラブが塚原ガバナー補佐により紹介されました。



最後には、「手に手つないで」を、参加者全員で肩を組み合唱し無事終了となりました。

参加者のロータリアンには、普段と違う厚木基地が開催場所となり、入場にはパスポート・写真付き住基カードを携帯することにご協力をいただきました。また、準備、段取りに実行委員会のみなさまも、ご苦労されたことと思います。その甲斐あって素晴らしい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

